

# 当社の原子力発電所の状況

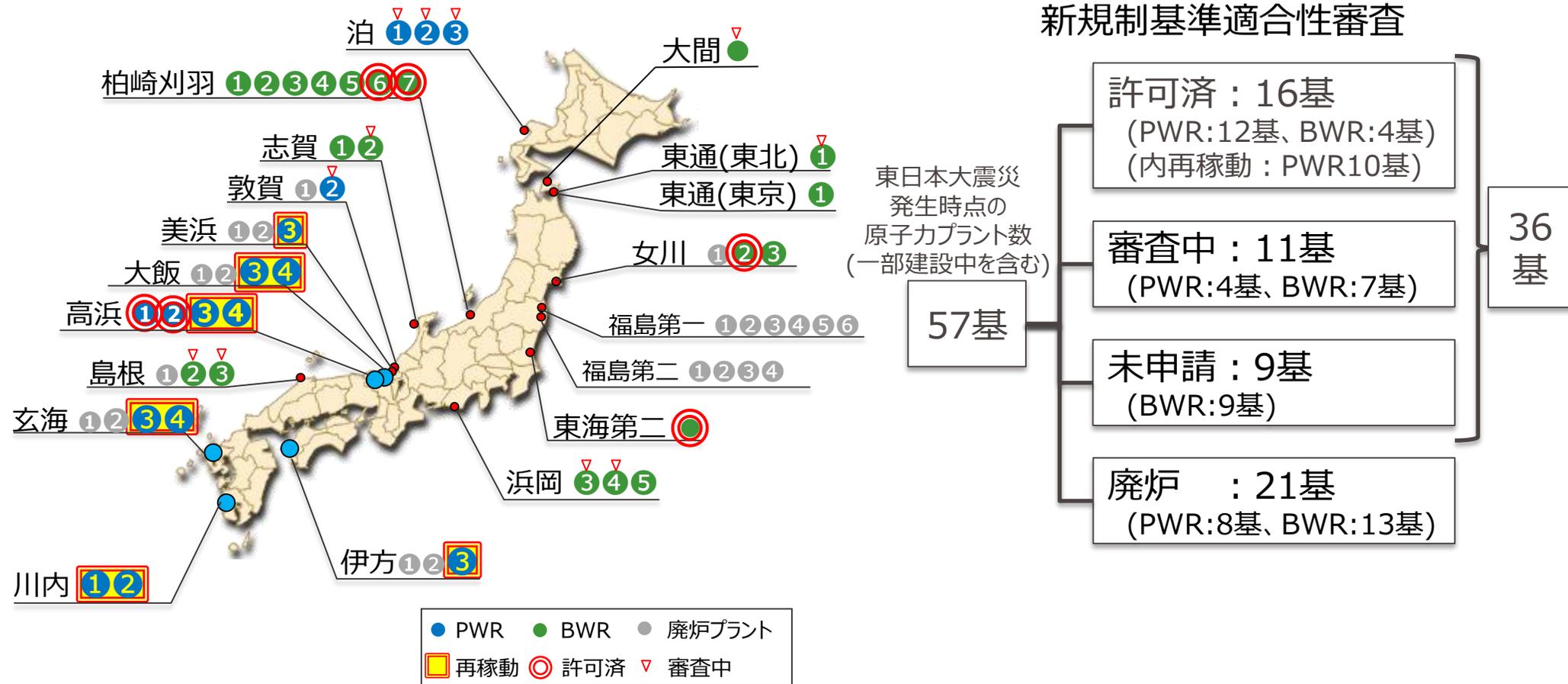
2021年7月  
関西電力株式会社



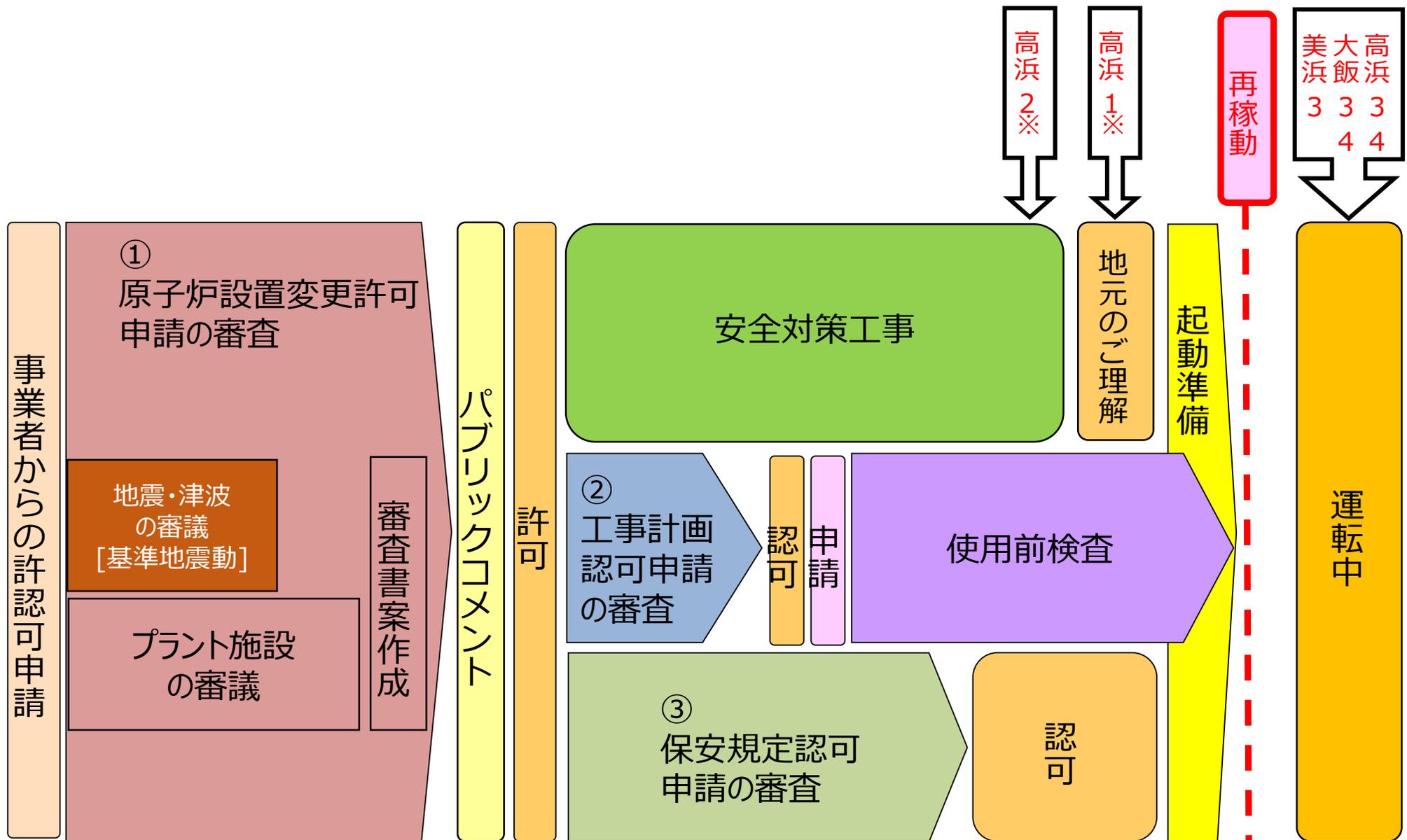
# 目 次

1. 再稼動への取組み
2. トピックス
  - (1) 特定重大事故等対処施設の概要
  - (2) 廃止措置の状況
3. まとめ

# 1. 再稼動への取組み



- 許可済のプラント16基のうち、当社のプラントは約半数の7基。
- また、40年を超える期間の運転を認められているプラントは全国で4基。うち、当社では美浜3号機(再稼動済)、高浜1,2号機の3基。



※ 高浜1, 2号機への再稼動について地元のご理解を頂いた。

# 再稼動プラントの状況

	2020年度	2021年度	2022年度
高浜 3号機	▼3/10 (4/5)	3月上旬 ▽	▽5月中旬 (6月中旬頃)
	定期検査	運転	定期検査 運転
高浜 4号機	▼10/7	▼4/15 (5/13)	10月上旬 ▽ (11月上旬頃) ▽5月下旬
	運転	定期検査	運転 定期検査 運転
大飯 3号機	7/20 ▼	▼7/5 (7/30)	12月下旬 ▽ (1月下旬頃) ▽8月下旬
	運転	定期検査	運転 定期検査 運転
大飯 4号機	11/3 ▼	▼1/17 (2/12)	3月中旬 ▽ ▽7月中旬 (8月中旬頃)
	運転	定期検査	運転 定期検査 運転
美浜 3号機		6/29 ▼ (7/27)	10/23 ▽
	定期検査	運転	定期検査 未定※1

※1：特定重大事故等対処施設等に係る工事の竣工時期が未定のため

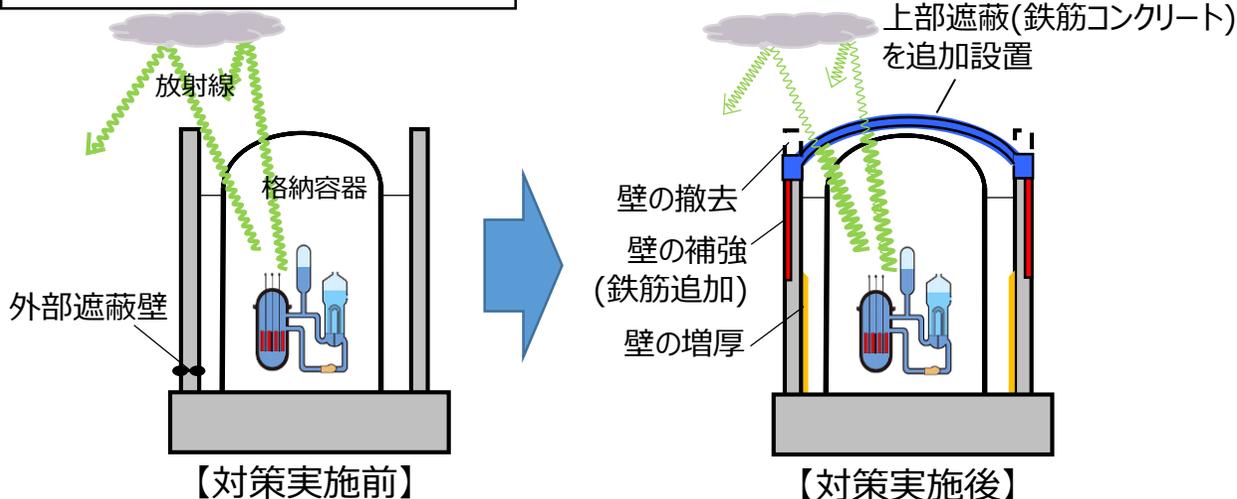
( ) は総合負荷性能検査受検実績・希望日

# 高浜 1, 2 号機の状況

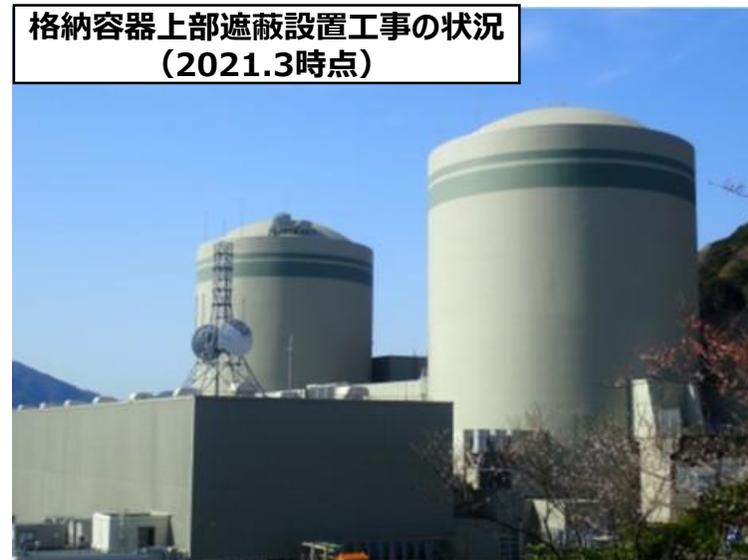
- 再稼動に係る許認可審査、および運転期間延長に係る審査は完了している。
- 60年までの運転に向けた安全性向上対策工事の本工事が1号機は完了。2号機は実施中。
- 引き続き、特定重大事故等対処施設工事を安全最優先で進め、工事完了後に再稼動する。

	2016年度	2017年度	2018年度～
高浜 1, 2 号機	▼4/20 設置変更許可  ▼6/10 工事計画認可  ▼6/20 運転期間 延長認可	運転期間延長 認可期限 7/7  9/8 方針決定および工事着手	1号機 ▼2020.9  2号機 ▽未定
	<b>安全性向上対策工事</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・格納容器上部遮蔽設置工事</li> <li>・燃料取替用水タンク取替工事</li> <li>・火災防護対策工事</li> <li>・中央制御盤取替工事</li> <li>・海水取水設備移設工事 (2号機のみ)</li> </ul>		

格納容器上部遮蔽設置工事イメージ



格納容器上部遮蔽設置工事の状況 (2021.3時点)



## 2. トピックス

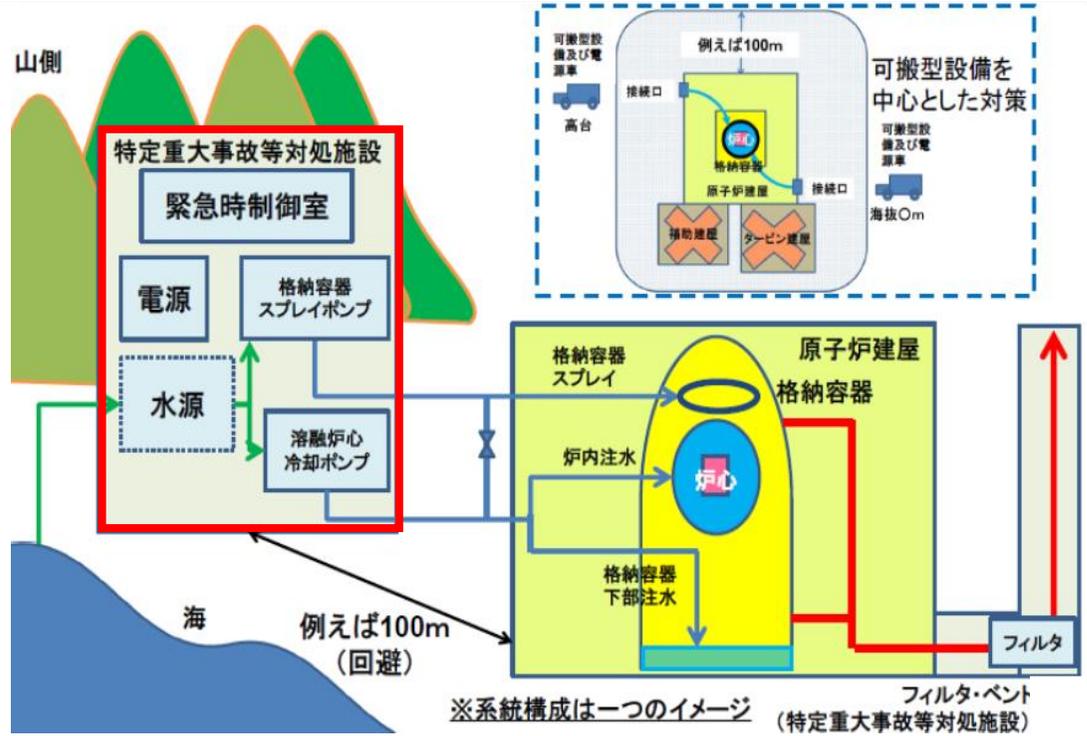
- (1) 特定重大事故等対処施設の概要
- (2) 廃止措置の状況

特重施設等については、当社として、発電用原子炉施設の更なる安全向上のために必要なものと認識しており、早期完成に向けて引き続き最大限の努力を継続してまいります。

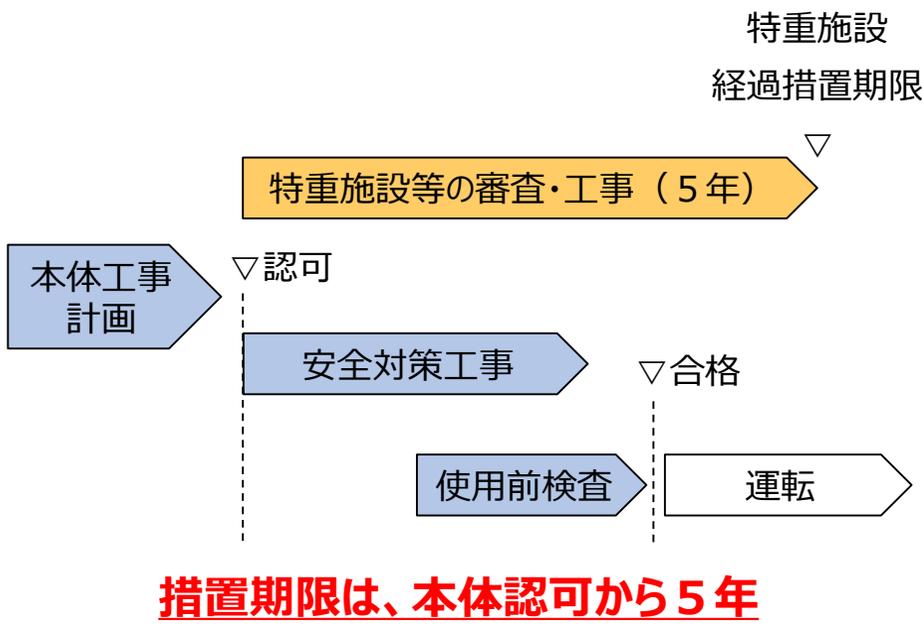
○高浜3号機は2020年12月11日、同4号機は2021年3月25日に特重施設の運用を開始

## 意図的な航空機衝突などへの対策

- ①意図的な航空機衝突などへの可搬型設備を中心とした対策（可搬型設備・接続口の分散配置）
- ②更にバックアップ対策として常設化を要求（特定重大事故等対処施設の整備）



※系統構成は一つのイメージ (特定重大事故等対処施設)



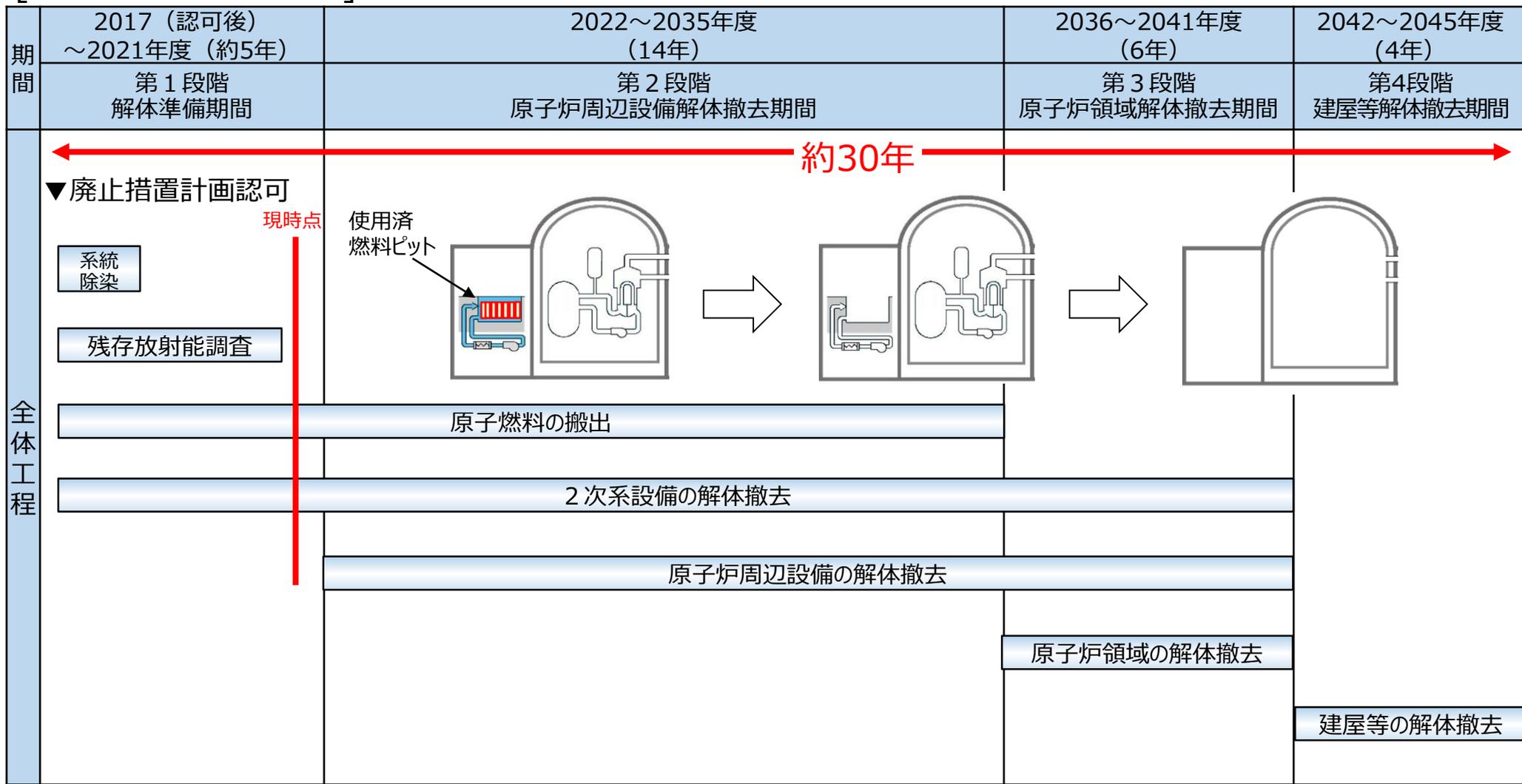
**措置期限は、本体認可から5年**

# (2) 廃止措置の状況 (美浜 1, 2 号機)

○2015年3月17日 廃止を決定し、同年4月27日をもって廃止

○2017年4月19日 廃止措置計画認可

## [廃止措置の全体工程]

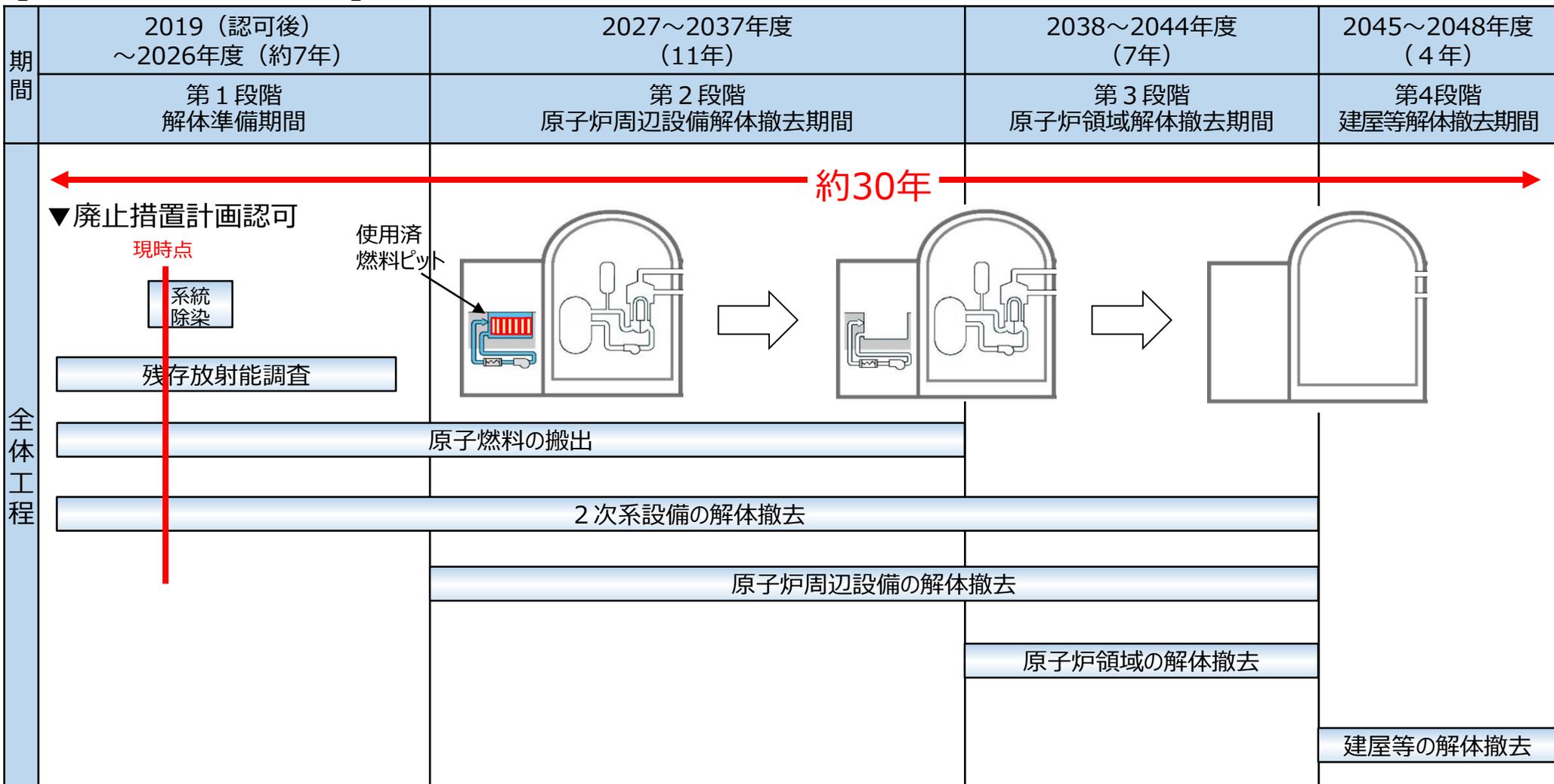


# (2) 廃止措置の状況 (大飯 1, 2 号機)

○2017年12月22日 廃止を決定し、2018年3月1日をもって廃止

○2019年12月11日 廃止措置計画認可

## [廃止措置の全体工程]



- 当社グループがこれまで事業を続けてこられたのは、お客さまや社会・地域の皆さまから賜る信頼のおかげであり、この信頼の源泉となるのが「安全」です。
- 再稼動した発電所の安全運転の実績を一つひとつ積み重ねるとともに、原子力の重要性や安全性について、地元をはじめ広く社会の皆さまにご理解いただけるよう努めてまいります。
- 特重施設等については、当社として、発電用原子炉施設の更なる安全向上のために必要なものと認識しており、早期完成に向けて引き続き最大限の努力を継続していきます。
- 廃止措置の実施にあたっては、必要な対策等を講じ、安全最優先で進めていきます。
- 当社は、信頼回復に全力を尽くすとともに、原子力における日本のリーディングカンパニーを目指し、原子力発電の安全性をたゆまず向上させていきます。